

## 我がまちの移動手段を使いこなそう、創り出そう

### 移動手段の現実

路線バスは朝晩、ふれあいバスは昼間とすみ分けて、平日 42 本運行されています。路線バスは、会社にとって最大の赤字路線にも関わらず、通勤通学時にはほぼ 30 分置きに運行しています。

ふれあいバスは、この地の要望を取り入れて、鶉沼宿駅やプールにまで行けます。またフェニックス・アピタにも行ける路線ができました。

しかし地域の人々は

- ・この街は、坂が多く、食品スーパーや、医療機関がないので、親族の心配をよそに、かなり高齢まで、自家用車に頼らざるを得ないとしています。
- ・生活支援ボランティアセンターには、通院や買い物のための送迎の要望が多く寄せられています。

アンケートでは、今、5年後、10年後家族の誰かは移送手段に困るとの回答が7割でした。

↓  
バスを使って、通院や買い物が自分ででき、健康を維持し、いつまでも元気で過ごせるまちにしよう。

↓  
そのために

- ・今から、我がまちのバスを、利用し育てていきましょう。
- ・乗ったことのない人も、まずは乗ってみましょう。
- ・利用体験ツアーも企画します。
- ・大きな字での運行時刻表を、各戸配布します。
- ・乗り方が分からない人は、ささえあいの家に問い合わせてください。
- ・地域独自の移送手段もみんなで考えていきましょう。

### バス利用名人紹介

・犬山や名古屋方面に行く時は夕方からにしています。電車で帰ると新鶉沼で必ず路線バスに乗れますからね。バスの時刻に合わせて行動をしています。

一木さん 80代

・朝ふれあいバスで、整形外科に行きます。その後またふれあいバスで帰ります。買い物がある時はコノミヤに寄ってコノミヤのバスで帰ってきますよ。

伊藤さん 80代

・岐阜方面に行くには、ふれあいバスの左回りに乗り、鶉沼宿駅で降りないで、26分間木曾川の美しい景色などを楽しみながら、新鶉沼まで行きます。電車が1時間に4本ありますから。便利ですよ。

吉田さん 80代

銀行・内科・整形外科、平和堂・電車での遠出等、ふれあいバスをフルに利用しています。バス停まで行くのがちょっと辛いので、路線バスでコノミヤに行って、コノミヤのバスで帰ることもあります。バスが頼りだから、その時刻は頭に入れていて、人から聞かれると教えていますよ。

宮野さん 90代

バス活用名人たち



ふれあいバス利用体験ツアー



地域の移動手段を充実するために、地区社協と両自治会との具体的な連携方法を模索しながら進めています。